

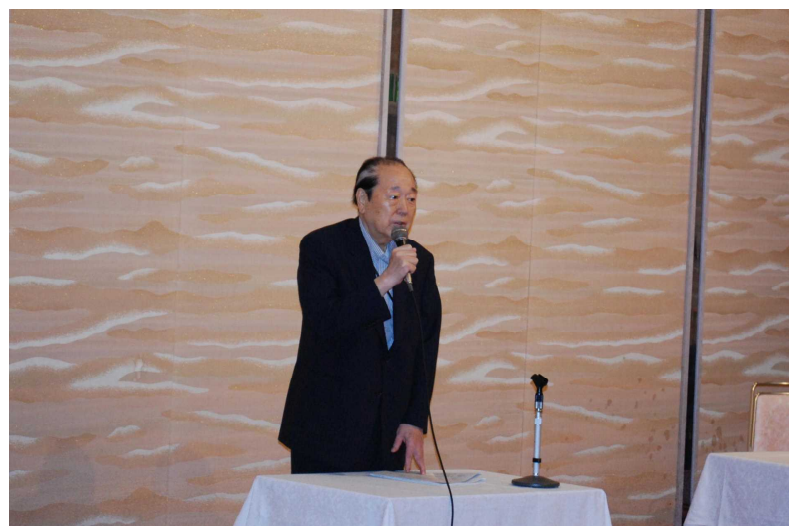
# とっとり農業会議情報

第 50 号  
発行：平成28年8月1日  
編集：一般社団法人  
鳥取県農業会議

## 主 な 内 容

- ◇ 農業委員会会長・事務局長会議（7月25日） . . . . . 2頁
- ◇ 県農業委員会会長総会（7月25日） . . . . . 2頁
- ◇ スペシャリスト等の農業関係研修会（7月7日） . . . . . 2頁
- ◇ **トピックス** 日野町農業委員会が新体制に！ . . . . . 3頁
- ◇ 農地パトロールが始まる（7月～8月） . . . . . 3頁
- ◇ 農業者年金加入推進特別研修会（7月13日） . . . . . 4頁

## 第92回通常総会開催（6月27日）



本会は6月27日、鳥取市の「白兔会館」で第92回通常総会を開催した。一般社団法人として運営を始めて最初の総会で、50会員の内、41会員が出席。議案は平成27年度決算関係の3議案で、いずれも原案のとおり承認された。

当日はそのほか、3点の報告があり、まず、「地域の人・農地問題の解決に向けて」について、県経営支援課の加藤課長より説明。人・農地問題を解決に向けた取り組みがより集落等において、誰が、どの農地で、どのような営

農をするのかを踏まえて、地域の農地利用のあり方や農業振興について十分に話し合う（人・農地プラン）ことが重要であること、県段階では、県農林水産部、公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構、鳥取県土地改良事業団体連合会、一般社団法人鳥取県農業会議が一体となって支援すると説明があった。その他、「平成27年度の農地中間管理機構の実績等について」を県及び県農業農村担い手育成機構の上場理事長から全国の農地中間管理事業の取り組み実績等の説明があった。

## 担い手への農地集積に関する

### 市町村担当部課長及び農業委員会事務局長会議開催（6月28日）

6月28日、湯梨浜町の中央公民館で「担い手への農地集積に関する市町村担当部課長及び農業委員会事務局長会議」が開催。県、県農業農村担い手育成機構、農業会議の共催で開催されたもので、当日は市町村、農業委員会、中国四国農政局鳥取支局、県、団体等、約140名が出席した。平成27年度の農地中間管理事業の実績や平成28年度の推進方針等、説明があった。また、今後の推進について、県や市町村農林担当の課長等から、そして農地中間管理事業を活用し担い手として頑張る農家を代表し、農事組合法人福成の代表、野口信一氏から意見発表があった。

## 農業委員会会長・事務局長会議（トップセミナー）（7月25日）

本会は7月25日、湯梨浜町の水明荘で市町村農業委員会会長・事務局長会議（トップセミナー）を開催した。農業委員会会長・事務局長ら約50人が出席し、現場で抱える課題や今後の取組みについて研修した。

まず、本会から農地・組織、担い手対策の現状と課題について報告。農地の利用状況調査と利用意向調査の取組みについて説明し、特に利用状況調査の実施に伴う農地・非農地の判断について写真で例示した。

今後、県、農業農村担い手育成機構と協議しながら内容を深めることとした。

トップセミナーでは、「農地中間管理事業の本格的な推進と農業委員会との連携について」、県農業農村担い手育成機構の上場理事長より提言があった。次いで新たな農業委員会組織体制について、市町村農業委員会の現状の検討状況を一覧で示し、3農業委員会から検討状況等の説明があった。最後に、本会



川上会長から、市町村農業委員会の「新たな体制への取組み」について、素案を説明。また「新たな農委会のかたち」として、“地活”実践運動9つのポイントとして提言。具体的にどのように取り組むのかを図式を示しながら解説した。本会として、来年7月の統一改選を迎える15市町村に対して、新たな体制に対応すべく研修を重ねていくこととしている。

## 県農業委員会会長協議会総会を開催（7月25日）

県農業委員会会長協議会（福田昌治会長）は7月25日、湯梨浜町の「水明荘」で第54回定期総会を開催した。19会員の内、18会員が出席。議案は平成27年度事業実績及び収支決算と平成28年度の事業計画、収支予算関係の3議案が上程されいずれも原案のとおり承認された。

## スペシャリスト等の農業関係研修会（7月7日）

本会は7月7日、湯梨浜町の水明荘でスペシャリスト等の農業関係研修会を開催。農業法人設立・経営力向上支援事業で派遣スペシャリストとして委嘱している司法書士、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士に農業経営アドバイザーを加え専門家29名が参加し、平成28年度農業関係施策の概要や県作成の「農業経営指導の手引き」のデータの活用事例などについて研修した。

研修は、県とっとり農業戦略課、経営支援課、畜産課の職員がそれぞれ、データを活用した経営シミュレーション、畜産クラスター事業の概要、本県農林水産部の主要事業について講演、説明を行った。参加したスペシャリストからは、わかりやすかったとの高い評価を得た。今後もアンケートの要望を参考にしながら、充実した農業関係の研修を提供していきたい。



## トピックス

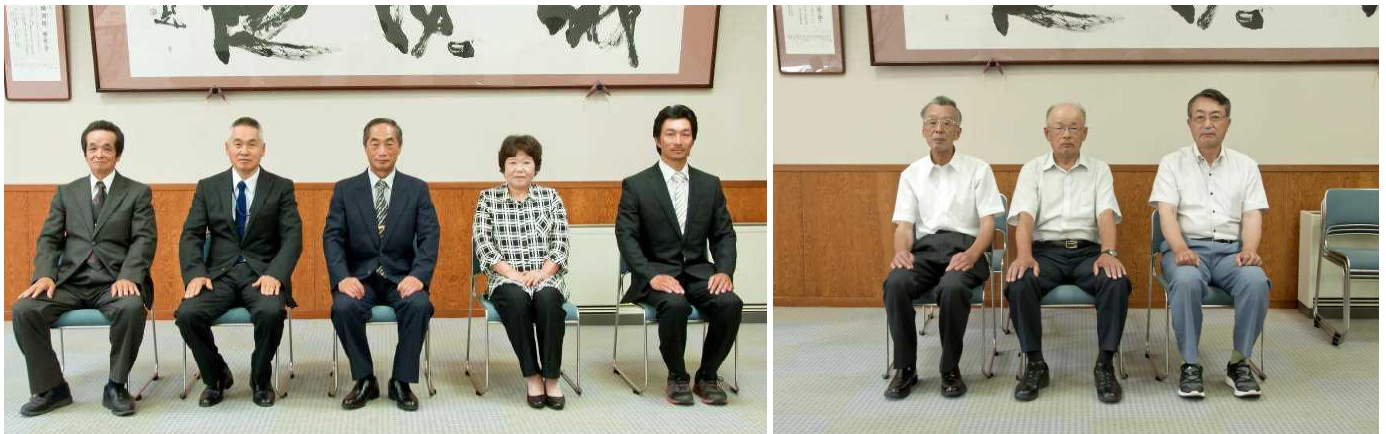
## 日野町農業委員会が新体制に！

日南町に次いで日野町農業委員会が新体制へ移行しました。昨年9月に改正農業委員会法が公布され、任期を迎える全国の農業委員会が準備を進めています。本県では来年7月に、15市町村が新体制に移行することとなっています。

今回、日野町農業委員会の新体制がスタートしたのでご紹介します。

## ■日野町農業委員会の皆さん（敬称略）

農 業 委 員 5名	農地利用最適化推進委員 ( )は区域 3名
長 住 武 美 (会長)	若 林 順 也 (根 雨)
頭 本 佳 苗 (会長職務代理)	松 本 昌 明 (日 野)
高 田 昭 徳	谷 口 勇 (黒 坂)
松 本 洋 一	
山 吹 長 年	



(日野町農業委員会農業委員の皆さん（写真左）、農地利用最適化推進委員の皆さん（写真右）です。)

## 農地パトロールが始まる（7月～8月）

市町村農業委員会が農地の利用状況を把握する目的で毎年実施している農地パトロール（利用状況調査）が7月から始まった。

湯梨浜町農業委員会（長谷川誠一会長）では7月28日に、町役場玄関前で農業委員や町関係者ら約30人が出席し出発式が行われた。長谷川会長や宮脇正道町長、本会の川上一郎会長らが挨拶。本年は、町長、町議会議員もパトロールに参加し、終了後には議員との意見交換会も実施された。今後、すべての農業委員会が調査を実施、遊休農地所有者に利用意向調査を実施して農地中間管理機構の県農業農村担い手育成機構と連携し遊休農地の解消に向けて活動する。



## 農業者年金加入推進特別研修会(7月13日)



社会保険労務士 諏訪氏

本会とJA鳥取県中央会(高見俊雄会長)は共催で7月13日、湯梨浜町の水明荘で「農業者年金加入推進特別研修会」を開催し、加入推進部長、農業委員、女性農業委員、農業委員会事務局職員など65人が参加、研修した。農業者年金基金の須藤徳之理事が「農業者年金の魅力と加入推進について」と題して講演。「魅力と感じるポイントをしっかりと説明し、積極的に推進を強化する必要がある」と強調した。次いで、社会保険労務士の諏訪学氏より「農業者年金制度とその魅力について」と題して講演。

農業会議の元職員ということもあり現場を熟知し分かりやすい説明をされた。

最後に、北栄町農業委員の杉川一二美加入推進部長が、農業者年金の加入推進の取り組み事例を発表。「その人のために、その人に合った制度のメリットを説明し、背中を押してあげることも大事」と地域で行ってきた年金加入の推進手法等について語りかけ、参加者は全員熱心に聞き入っていた。



北栄町農業委員会 杉川加入推進部長

### < 常設審議委員会だより >

#### 第3回常設審議委員会(平成28年6月27日開催)

議事	・農地法第4条意見聴取	3件	2, 239㎡
	・農地法第5条意見聴取	7件	51, 047㎡
	・農山漁村再生エネルギー法	1件	21, 608㎡

協議報告 ◆本会主要課題への対応について ほか

#### 第4回常設審議委員会(平成28年7月21日開催)

議事	・農地法第4条意見聴取	2件	3, 330㎡
	・農地法第5条意見聴取	5件	11, 652㎡

協議報告 ◆市町村農業委員会の「新たな体制への取り組み」について ほか

### 農業会議関係会議等予定(平成28年8月~9月)

8月4日(木) 県農業者年金連盟総会<水明荘>  
19日(金) 第5回常設審議委員会<水明荘>  
" 第2回理事会<水明荘>

8月31日(水) 県女性農業委員の会総会<水明荘>  
9月上旬 県農業委員会職員協議会  
21日(水) 第6回常設審議委員会<県中部>

**【編集後記】** 新たな農業委員会の組織・制度が始まって、4カ月が経過しました。本県でも日南町、日野町が新体制でスタートしています。今回の制度改正で、農業委員会は農地利用最適化の推進が重点業務に位置づけられて、農業委員会活動の成果が問われることとなります。本会も現場第一に、より一層努力して、農家の皆さんのため、市町村農業委員会の支援をして参ります。(K)